

みずほ銀行

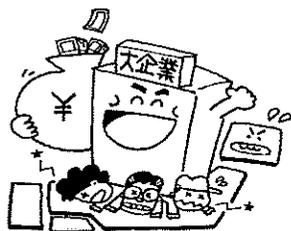
貸しはがし
貸しはがし

やめよ

メガバンク 多額の公的資金(税金) 受けて大儲け

バブル経済を投資であり、バブルがはじけるや莫大な損失を、国民の税金である公的資金によって救済された大銀行。その後も、手厚い国の保護のもと、投入資金の枠はさらに拡大されています。

みずほ銀行などメガバンクは、国民の税金で保護され、大儲けを続けながらも、この十年間、国に納める税金はまったく払っていません。公的資金の投入の口実は「貸し渋り」の解消でしたが、そんなことは尻目に、外国の金融機関に巨額の出資とは、いろいろたいどうなっているのでしょうか。



みずほ銀行は筆頭株主の責任を果たせ

社会的責任はたせ

みずほFGが
最大の「貸し渋り」

景気の悪化が深刻さを増している中、資金繰り困難による中小企業の倒産が相次いでいます。

倒産の大きな原因には、金融機関の「貸し渋り、貸しはがし」があります。その多くがみずほ銀行などメガバンクといわれる大銀行グループによるもの。

みずほFGは昨年九月期、前年比で二兆三千億円も中小企業への融資が減少。倒産に追い込む業者泣かせの先頭に立っています。

みずほ銀行など大銀行は、「貸し渋り、貸しはがし」をやめ、日本経済の再建に向け、社会的責任を果たすべきです。



筆頭株主 みずほ銀行の 決断こそ決め手です

みずほ銀行は、四月に経営統合する明治乳業と明治製菓、双方の筆頭株主であり両社に深く関わる立場にあります。その一方の明治乳業が抱える長期労働争議の解決には、みずほ銀行の決断こそが決め手です。

二月の最高裁決定によっても、「明治乳業に否がある」とした高裁の認定は確定したのです。

新会社「世界への飛躍」をめざすためにも、いまこそ争議解決の大きな節目であり、絶好の機会です。その機を逸することなく、正常な企業活動を求める筆頭株主としての責任を果たすべきです。

明治乳業争議支援共闘会議

連絡先 江東区労連 03-5606-5285

明治乳業争議団 047-332-5698

ホームページ <http://ms-64.web.infoseek.co.jp/>